

学校評価(平成24年度) I

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>【ア;情報を伝える。説明する。考えや思いを聞く。】 ◎教育の方針や活動状況を児童・保護者・地域の人々に適切に伝える。 ◎児童・保護者・地域の人々の願いや思いを、学校がしっかりと受け止める。</p>
<p>② 本年度の 取り組み状 況</p>	<p>○たより・通信(学校、すくすく、学年、学級、保健、献立、図書館等)を発行する。 ○学校HPに日頃の児童の様子、行事予定、手続き等を掲載する。 児童の様子は『学校日記』として写真を多用する。 ○学校教育説明会、宿泊行事説明会、入学説明会等を実施する。 ○通知表『あゆみ』を工夫する。家庭訪問・個人懇談等の機会あるごとに学習内容・評価を保護者に伝える。</p>
<p>③学校教育 自己診 断・授業評 価等定量 的評価及 び定性的 自己評価 内容</p>	<p>本年度は自己評価のまとめ方を変えた。児童・保護者・地域に説明することや意見・要望を聞かせていただくことなどを、この分類に集約した。 関係するアンケート項目は以下の4項目である。項目文末の()内は昨年度と本年度のA「とてもそう思う」B「だいたいそう思う」の合計である。保護者集計は()に、児童集計は<>に、教職員集計は<<>>に入れた。いずれも(昨年度、本年度)の順とした。 (1-1)学校は教育方針や指導の様子を分かりやすく伝えている。 (72%、77%)<65%、--%><<67%、67%>> (1-3)学校は、保護者や地域の人たちの願いを受け止めて取り組んでいる。 (68%、71%)<82%、90%><<80%、79%>> (2-4)通知表の評価や記録は適切で分かりやすい。 (74%、80%)<88%、88%><<93%、73%>> (3-1)学校には、悩みや心身の健康等を相談しやすい先生がいる。 (40%、53%)<76%、80%><<60%、47%>> いずれの項目も、保護者からは昨年度より本年度の方が良い評価をいただいた。しかし、(3-1)では、「相談しやすい教職員がいない」という項目での評価は、昨年度・本年度とも低評価であることを踏まえ、教職員研修の強化などの組織改善に取り組む。</p>
<p>④学校関係者評価 (学校協議会等からの提言)</p>	<p>学校と保護者の間で、できるだけ双方向の情報発信ができるような工夫が必要である。また教育相談については学校の核となる活動であるので、どんな小さなことでも相談できる体制づくりが大切と考える。 このようなことから、最近増えている学校ブログを開設することも視野に入れた情報発信の運用を考えることも有用な手段だと思われる。</p>

学校評価(平成24年度)Ⅱ

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>【イ;仲間をつなぐ。集団を育てる。地域連携を深める。】</p> <p>◎思いを仲間と共有する、お互いのよさを認め合う、集団・社会のルールを大切に する児童を育てる。人権教育をすべての教育活動の基盤において取り組む。</p> <p>◎地域の方との交流を大切にし、豊かな文化の育成を目指す。</p> <p>◎義務教育9年間の子どもの育ちを見守り、支援する。</p>
<p>② 本年度の 取り組み状 況</p>	<p>○「生活アンケート」等を活用し、いじめの根絶・集団意識の醸成を進める。</p> <p>○児童朝会等を活用して、集団を育成するための全校指導を実施する。児童会に よる挨拶運動を進める。</p> <p>○保・幼との交流、地域施設の方と交流、地域ボランティアの方と学習・体験活動を行 なう。きょうだい学年との交流を進める。</p> <p>○登校班への指導(毎月3日間)、見守りデー(毎月1回)・地区児童会(学期の初・ 末)等による下校指導を実施する。</p> <p>○中学校から小学校へ;6年社会・音楽、5年体育。小から中へ;中1理科</p> <p>○教職員交流会、児童・生徒が触れ合う場(授業・クラブ体験、入学説明会等)。</p>
<p>③学校教 育自己診 断・授業評 価等定量 的評価及 び定性的 自己評価 内容</p>	<p>関係するアンケート項目は以下の6項目である。項目文末の()内は昨年度と本年 度のA「とてもそう思う」B「だいたいそう思う」の合計である。保護者集計は()に、児 童集計は<>に、教職員集計は<<>>に入れた。いずれも(昨年度、本年度)の順と した。</p> <p>(1-2)子どもは学校を楽しく感じている。 (88%、91%)<83%、89%><<67%、47%>></p> <p>(1-4)児童会の朝の挨拶運動などは子どもたちの意識を高めている。 (83%、80%)<78%、80%><<80%、73%>></p> <p>(1-5)中学校の先生が6年生に社会や音楽、5年生に体育など教科を教える小中連 携は、効果がある。(81%、91%)<82%、90%><<40%、40%>></p> <p>(1-6)学校は、地域のボランティアの方たちと協力して教育活動を進めている。 (86%、86%)<82%、90%><<80%、67%>></p> <p>(3-2)学校はいじめや子どもが困っていることについてしっかり取り組んでいる。 (42%、62%)<78%、82%><<67%、73%>></p> <p>(3-3)学校は学習や生活のきまりをしっかり指導している。 (66%、73%)<83%、84%><<73%、60%>></p> <p>(1-2)の項目から、11%の児童が「楽しい」とは感じていないことを重く受け止めるべ きである。(3-2)の保護者評価は昨年度より改善はあるものの依然と低い。厳しい結 果であると受け止めたい。安心してお任せいただける組織改善に取り組む。</p>
<p>④学校関 係者評価 (学校協議 会等からの 提言)</p>	<p>小学校は学級担任制であることから、複数の教員の目で子どもを見る機会が少な い。そういう意味で今年度毎月各クラスの子どもの様子について情報を交換してきた ということは高く評価できる。</p> <p>今後は交換授業などの工夫をしながら、教職員全員で子どもを見守る取り組みを さらに進めてもらいたい。</p> <p>あいさつ運動は東能勢小学校校区の誇れる取り組みであることから、今後も一層 充実させてほしい。</p>

学校評価(平成24年度)Ⅲ

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>【ウ;学習を組織する。意欲を育てる。】 ◎学力の向上を目指し、学習における基礎・基本の定着を図る。 ◎教育課程の実施状況に関する自己評価に関わる研究を進める。</p>
<p>② 本年度の 取り組み状 況</p>	<p>○加配教員・専科教員等を活用したTT・分割(習熟度別も含む)の実施 ○中学校教員による小学校高学年への授業 ○授業参観・研究授業にて保護者・児童・教職員の授業評価を実施 ○朝の全校一斉活動(8:35～8:50)朝読書、朝レク等 ○1学期保護者懇談の日に補充学習を実施 ○「全国学力・学習状況調査」「学校教育自己診断」「授業アンケート」等を実施・活用する。 ○校内にて国語・算数学力実態調査を実施・活用する。 ○大学から講師を招いて『書くこと』をテーマとした授業研究を行う。</p>
<p>③学校教 育自己診 断・授業評 価等定量 的評価及 び定性的 自己評価 内容</p>	<p>関係するアンケート項目は以下の2項目である。項目文末の()内は昨年度と本年度のA「とてもそう思う」B「だいたいそう思う」の合計である。保護者集計は()に、児童集計は<>に、教職員集計は<<>>に入れた。いずれも(昨年度、本年度)の順とした。</p> <p>(2-1)学校の算数の少人数指導(分割やTT等)は、学力向上に役立っている。 (75%、86%)<81%、85%><<47%、100%>></p> <p>(2-2)学校の国語の少人数指導(分割やTT等)は、学力向上に役立っている。 (74%、86%)<84%、88%><<33%、73%>></p> <p>校内では国語を研究テーマとして研修会を設定してきた。保護者の評価では、算数も国語も同じ評価であり、児童から見ると、国語の方が若干高い評価となっている。教職員の評価は前年度より大きく改善された。今後とも両教科の授業研究を更に深めるとともに、指導方法の工夫改善に取り組む。</p>
<p>④学校関 係者評価 (学校協議 会等からの 提言)</p>	<p>少人数指導は子どもの学習状況の把握や個別のアドバイスがしやすいことから単元の内容によっては非常に効果的である。また、「宿題部屋」の取り組みは、一人の子どももつまずかせないという先生方の意志が感じられる。</p> <p>今後は授業の内容によって、少人数指導やT.Tなど様々な工夫をして子どもの学習意欲を高めてほしい。</p>

学校評価(平成24年度)Ⅳ

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>【エ;心身の健康を増進させる。】 ◎心身の健康・食・安全について考え、スポーツを楽しむ児童を育成する。 ◎命や体を大切にし、生活の向上を目指す児童を育てる。</p>
<p>② 本年度の 取り組み状 況</p>	<p>○毎週金曜日に「朝レク」を実施する。 ○ランチルームの活用、朝食アンケート(1学期)、交流給食(年間3回)を実施する。 ○避難訓練(不審者6/10、火災10/17、地震1/17)を実施する。 ○安全・安心な学校づくりを再検討し徹底する。 ○北館中央トイレを改装し快適な学校作りを行う。</p>
<p>③学校教 育自己診 断・授業評 価等定量 的評価及 び定性的 自己評価 内容</p>	<p>関係するアンケート項目は以下の2項目である。項目文末の()内は昨年度と本年度のA「とてもそう思う」B「だいたいそう思う」の合計である。保護者集計は()に、児童集計は<>に、教職員集計は《 》に入れた。いずれも(昨年度、本年度)の順とした。</p> <p>(1-7)学校は、子どもたちの安全確保や家庭への緊急連絡等に適切に対応している。(79%、73%)<86%、73%>《93%、71%》</p> <p>(2-3)学校は子どもたちの体力を高めるためにしっかり取り組んでいる。(70%、81%)<83%、85%>《60%、53%》</p> <p>(1-7)安全に関してはいずれの評価も本年度が昨年度をいくらか下回った。日頃の安心感を作りだすことを心がける。マニュアルの更新に取り組む。</p> <p>(2-3)体力作りには保護者からも児童からも評価が向上した。さらに目的が明確になる取組を工夫し、具体的な体力向上に努める。</p>
<p>④学校関 係者評価 (学校協議 会等からの 提言)</p>	<p>子どもの健康を増進させるためには、運動習慣や生活習慣の改善が不可欠である。また、家庭では睡眠を十分とって朝ごはんを毎日食することが健康増進につながる。これらのことから学校の取り組みと家庭での生活習慣が連動することが大切である。</p> <p>今後も学校と家庭と連携して子どもの心身のバランスのとれた成長を図るための様々な取り組みを進めてもらいたい。</p>